



事例を出し合い 気づいて発見 危険箇所への 対策築く

陸災防「令和3年度 安全衛生標語」 荷役部門優秀作品



令和3年10月 No.629

発行所 陸上貨物運送事業労働災害防止協会
〒108-0014 東京都港区芝5丁目35番2号
安全衛生総合会館内 ☎03-3455-3857代表
<http://www.rikusai.or.jp>
(印刷物による年間購読料3,600円)

第36回全国フォークリフト運転競技大会特集号

- 第36回全国フォークリフト運転競技大会開催 … (1)～(7)
- 出場選手一覧 … (2)
- 入賞者及び結果 … (6)
- 一般の部 優勝選手インタビュー … (8)
- 女性の部 優勝選手インタビュー … (9)
- 感染防止対策に取り組みました … (10)～(11)
- フォークリフト荷役技能検定のご案内 … (12)

第36回全国フォークリフト運転競技大会開催

【一般の部】優勝 今村英二選手(石川県支部) 準優勝 大内直人選手(福島県支部)
 【女性の部】優勝 太治萌葉選手(京都府支部) 準優勝 土谷綺咲選手(岩手県支部)



第36回全国フォークリフト運転競技大会 運転競技

陸上貨物運送事業労働災害防止協会は、10月2日(土)・3日(日)、中部トラック総合研修センター(愛知県みよし市)にて第36回全国フォークリフト運転競技大会を開催しました。

昨年の大会は新型コロナウイルスの感染拡大のためやむなく中止しましたので2年ぶりの開催となり、全国で318名の選手が参加し、特に優秀な成績を修め、各都道府県支部長から推薦を受けた、一般の部28名、女性の部9名、合わせて37名の選手が参加されました。

大会前日まで台風16号の影響が心配されましたが、大会2日間は夏を思わせるような最高気温が30度近くまで上がる晴天に恵まれました。

本年の大会を制覇し優勝されたのは、
 一般の部 石川県支部 今村英二選手
 女性の部 京都府支部 太治萌葉選手
 でした。



一般の部優勝 今村英二選手、女性の部優勝 太治萌葉選手

今村選手は、これまで3回の全国大会に出場し、今回が最後の機会との思いで各競技に臨まれ、見事栄冠を手にとられました。

太治選手は、初出場でしたが、先輩の指導を受けながら練習を積み重ね、優勝を手にとられました。京都府支部は女性の部で2連覇となります。

今回の大会から会場を中部トラック総合研修センターに移し、2日間の日程で開催することとしました。

年々参加者が増加しているため円滑な運営を行うための措置でしたが、本年は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、参加選手を各支部、各部門1名ずつに抑えたことなどから例年より少ない参加者となりましたが、来年以降の大会運営に向けた改善、試行にも取り組んだところです。

また、本年は全国的に新型コロナウイルスの感染状況がなお厳しい中で地方大会がスタートしましたので、地域の状況を踏まえ、やむなく地方大会の中止を決断された支部や、地方大会は開催したものの代表選手が全国大会直前に辞退せざるを得なくなるなどの影響が出ましたが、多くの支部の関係者や会員企業の皆様のご理解とご協力により全国大会を開催することができましたことに厚く御礼申し上げます。

今回の大会では、新型コロナウイルスの感染防止対策を十分に取りながら安全、安心な大会を心がけ実施しました（後記参照）。参加選手をはじめ付添いの皆様のご協力に感謝申し上げます。

以下、大会の様様をご紹介します。

大会初日（10月2日）、選手の受付は11時30分からでしたが、9時すぎには選手が集まり始め、運転コースを確認したり、学科競技のためテキストの最終確認を行ったりして、少しずつ大会に臨む準備を整えていました。11時30分の受付前には既に多くの参加選手が並んで順番を待ち、受付開始と同時に検温、新型コロナウイルス対応の確認を行い、ゼッケン番号の抽選に臨みました。

ゼッケン番号の抽選では思いどおりの番号を引いた方や、予想外の番号を引いた方など悲喜こもごもの様子がみられましたが、競技に臨む決意を新たにされているように感じられました。

開会式

開会式は13時から行われました。

開会の挨拶

大会実行委員長である当協会横尾専務理事から開会の挨拶があり、「今回の大会は2年ぶりの開催となり、選手の皆様はこれから始まる競技に期待を大きく膨らませておられることと思います。新型コロナウイルスの感染状況の影響により、参加がかなわなかった多くの仲間たちの思いも胸に、これまで培ってこられた知識と技術、

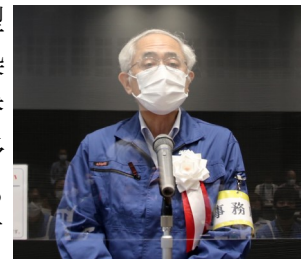


写真1 横尾実行委員長

第36回全国フォークリフト運転競技大会出場選手の皆さん（敬称略）

一般の部（28名）

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
北海道	山下 徳志	埼玉県	小澤 修磨	静岡県	渡邊真一郎	鳥取県	新 和憲
岩手県	佐藤 克	千葉県	近藤 浩美	愛知県	福岡 和幸	岡山県	平井 一得
山形県	高田 真澄	東京都	内藤 由貴	三重県	小川 裕樹	香川県	篠原 佑介
福島県	大内 直人	富山県	砂田 英之	滋賀県	竹村 昌俊	佐賀県	山崎 翔平
茨城県	菊池 大輔	石川県	今村 英二	京都府	河村 光男	熊本県	石井 剛
栃木県	松橋 仁	福井県	清水 昭博	大阪府	小宮山徳人	宮崎県	黒木 康太
群馬県	石倉 利啓	岐阜県	松田 拓也	和歌山県	田中 大輔	鹿児島県	中島 隆暁

女性の部（9名）

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
岩手県	土谷 綺咲	埼玉県	羽鳥美佐子	三重県	永戸 初美	鳥取県	水下 奈文
茨城県	佐々木久江	愛知県	川田 美紀	京都府	太治 萌葉	鹿児島県	緑 美幸
群馬県	福島 京美						

技能を遺憾なく発揮し、健闘されますことを強く希望します」と開会を宣言されました。

開催地支部長挨拶

次いで開催地支部の青木均愛知県支部長（当協会副会長）から、「選手の皆様、全国から愛知県によろこそお越しくございました。このたびは全国フォークリフト運転競技大会に中部トラック総合研修センターをご利用いただけることを大変うれしく思います。この大会は競技ではありますが大切なことは順位ではなく皆様のフォークリフト作業における安全であり、労働災害を起こさないことでもありますので、出場のために努力をされた知識及び技術などを他の社員の方々に水平展開していただきまして、労働災害を防いでいただくようお願いいたします」との挨拶がありました。



写真2 青木愛知県支部長

選手宣誓

続いて、一昨年度大会の優勝者が所属していた愛知県支部選出の福岡和幸選手が全選手を代表して、「正々堂々、競技することを誓います」と力強く選手宣誓を行いました。



写真3 選手宣誓

競技

学科競技

学科競技では、まず解答用紙が配られ、ゼッケン番号と氏名の記入が終了した後問題を配付し、制限時間40分間の問題に取り組みました（写真4）。

全員が終了時間まで真剣に何度も繰り返し



写真4 学科競技

回答を確認していました。

点検競技

点検競技は全3コースで実施しました（写真5）。今大会点検競技で使用したフォークリフトは次の機種です。

第1コース：三菱ロジスネクスト（KFGE15T）

第2コース：住友ナコ（FG15PAXIII）

第3コース：コマツ（FG15T-21）

これまでの大会ではゼッケン番号で点検を行うコース（機種）を指定していましたが、競技を円滑に行うため今回からゼッケン番号順にコースを指定することとしました。

また、今大会の点検競技では感染防止対策として、全選手に手袋を着用いただきました



写真5 点検競技(第1コース)



写真5 点検競技(第2コース)



写真5 点検競技(第3コース)

た。手袋は、選手各自で用意いただいたものや当協会が用意した「B0500パームフィット手袋(ショーワグローブ)」を使用しました。

選手は、どのメーカーの機種で点検を実施するかが競技開始直前まで分からない状況の中、また制限時間とも闘いながら、無駄のない動きで的確に点検を実施していました。

円滑に競技が行われ、大会1日目は16時30分までに全て終了しました。

その後、選手はバスに乗りホテルへ移動し宿泊しました。宿泊先へ向かう車中は、翌日に運転競技が控えているためか、緊張感が漂っていました。

翌朝、宿泊先から会場へ向かう車中は、運転競技へ臨む高揚感に包まれておりました。

運転競技

大会2日目（10月3日）は8時45分から最終競技の運転競技が始まりました。

運転競技は全2コースで実施しました（写真6）。今大会運転競技で使用したフォークリフトはAコース、Bコースともに次の機種です。

トヨタL&F（02-8FGL25）

選手が運転競技を行うコースは、従前の大会ではゼッケン番号で指定していましたが、今大



写真6 運転競技(Aコース)



写真6 運転競技(Bコース)

会から競技開始の準備が整ったコースへ係員が誘導することとしました。

また、今大会の運転競技では感染防止対策として、各選手の競技開始前にフォークリフトの消毒を行いました。

選手は緊張の面持ちの中、狭いコースの中で走行、荷役を操作していました。指先に込めた安全確認の声が、屋内競技場に響きました。

表彰式

運転競技が11時20分に終了し、表彰式は予定時間より早く13時00分から行われました。

会長挨拶

当協会渡邊健二会長から「今年の全国フォークリフト運転競技大会は、新型コロナウイルスの感染状況も踏まえながら、その感染防止対策に万全を期



写真7 渡邊会長

すため、原則無観客での開催といたしましたので、選手の皆さんをはじめ、付添いの方々にもご協力をお願いし、またご不便をおかけしました。安全で安心な大会とするための措置としてご理解いただければと思います。厳しい状況の中、このように開催できましたのも、お集まりの皆様をはじめ関係者のご理解・ご協力によるものであり、深く感謝申し上げます。

本大会は、フォークリフトの運転競技を通じて、運転に関する知識と技能の向上を図り、遵法精神と安全意識を高めることにより、荷役運搬作業の安全を確保するとともに、職場における労働災害防止に寄与しようとするものです。

陸運業における労働災害は、ここ数年増加傾向にあり、特に荷役関連災害がその多くを占めている状況にあります。先日、厚生労働省の三原副大臣から荷役作業における労働災害の減少に向けての緊急要請をいただきました。今後は、この要請を踏まえ、陸災防としても、さらにその対応を徹底して参りますが、その中でも、フォークリフトに起因する

災害は、荷役5大災害の一つとして、その安全作業に向けた取組が一層求められているところではあります。

こうした中、選手の皆様が本大会に向け注がれたご努力を心から讃えますとともに、大会を通じて得られた経験を職場の同僚、後輩の方々に広く伝えていただき、職場における労働災害の防止になお一層のご尽力をいただくようご期待申し上げます」との挨拶がありました。

来賓祝辞

続いて、ご来賓の方々からご祝辞をいただきました。

厚生労働省労働基準局武田康久安全衛生部長（要旨）

「今年には十分な感染防止対策のもと、大会が開催されましたことを、お慶び申し上げます。



写真8 武田厚生労働省労働基準局安全衛生部長

令和2年のフォークリフトに関連する労働災害発生状況を見ますと、31名の方々の尊い命が失われ、また、1,989名の方々が休業4日以上災害に被災されている状況にあります。また、陸上貨物運送事業における死傷者数は、残念ながら増加を続けており、そのうち7割が荷役作業中に発生しています。

こうした災害の状況を踏まえ、受賞者をはじめ本日ご参加の皆様方におかれましても、引き続きの技量の向上と併せて、安全な作業方法の実施について職務の再点検を行っていただくとともに、今後とも職場や地域における模範として日頃の安全活動や後進の指導にも取り組んでいただけますようお願い申し上げます」とのご祝辞とともに、次の所感を述べられました。「初めて大会を拝見させていただきました。まさに匠の技。本当に感動いたしました。普段と違うものすごい緊張感の中での競技だったと思いますけれども、日頃の皆様方の鍛

錬、また、それを支える各事業所、企業の皆様方のご協力、それから応援があってこそ、皆様のご活躍だったのではないかと思います。今の日本を支える非常に重要な部分を、皆様方は背負っておられるということに改めて拝察した次第です。これを機に、さらに技能の向上、それから安全対策への一層の意識の向上というものを図っていただければと切に期待申し上げます。」

全日本トラック協会会長（代読：寺岡洋一 全日本トラック協会副会長）（要旨）

「全国から選出されたフォークリフト運転者によって、日頃から培った高度な技術と知識が競われた本大会の持つ意義と役割は重要です。参加された選手の方々は、本大会の参加を誇りに地域のフォークリフト運転者に対して、安全は全てに優先するという意識を浸透させるためのリーダーとして、今後の一層の活躍をご期待します。」



写真9 寺岡全日本トラック協会副会長

日本産業車両協会会長（代読：高瀬健一郎 日本産業車両協会専務理事）（要旨）

「当協会では、今年7月に東京でフォークリフト安全の日という行事を初めて開催しました。今後もフォークリフトの安全向上のため最新の機能を紹介するとともに、フォークリフトを正しい操作で使うための普及啓発活動に力を入れてまいります。卓越した技術を持って各支部を代表して参加された選手の皆様のますますのご発展をお祈りします。」



写真10 高瀬日本産業車両協会専務理事

講評・入賞者発表

当協会黒谷一郎技術管理部長から「今大会は、点検及び運転の両競技でやや得点が伸び悩んだ傾向があります。新型コロナウイルスの感染拡大による大会参加準備不足等の影響もあったのではないのでしょうか。また、初めての2日間開催に加え、新型コロナウイルス



写真11 黒谷技術管理部長

スの感染拡大防止対応のため、宿泊先滞在中の行動まで制限したことでリラックスできなかったことも一因となったかもしれません。

こうした状況の中にあっても、参加選手全員の奮闘により、本大会の目的である、運転技能の向上と安全意識の高揚を十分果たすことのできた大会であったことに感謝を申し上げます」と講評し、続いて入賞者の発表が行われました。

例年の入賞者発表では名前が呼ばれるたびに大きな歓声が揚がるのですが、今大会は感染防止のため、大きな拍手が会場に響きました。

第36回全国フォークリフト運転競技大会 一般の部 入賞者及び結果 (敬称略)									
順位	氏名	支部名	総合得点	学科	点検	運転	配点	最高得点	平均点
優勝 (厚生労働大臣賞)	今村 英二	石川県	937	282	85	570	学科	300 (1名)	260
							点検	100 (2名)	81
							運転	600 (2名)	519
							総合得点	1,000	937
									859
							()内は最高得点者数		
準優勝	大内 直人	福島県	931	276	85	570			
第3位	内藤 由貴	東京都	929	294	70	565			
第4位	田中 大輔	和歌山県	928	288	90	550			
第5位	小宮山徳人	大阪府	915	270	85	560			
健闘賞	佐藤 克	岩手県							

第36回全国フォークリフト運転競技大会 女性の部 入賞者及び結果 (敬称略)									
順位	氏名	支部名	総合得点	学科	点検	運転	配点	最高得点	平均点
優勝 (厚生労働大臣賞)	太治 萌葉	京都府	894	294	90	510	学科	300 (1名)	255
							点検	100 (2名)	73
							運転	600 (1名)	452
							総合得点	1,000	894
									764
							()内は最高得点者数		
準優勝	土谷 綺咲	岩手県	882	252	90	540			
第3位	川田 美紀	愛知県	850	270	80	500			
第4位	緑 美幸	鹿児島県	826	246	70	510			
第5位	福島 京美	群馬県	795	270	75	450			
健闘賞	永戸 初美	三重県							

表彰

入賞者発表に続き表彰が行われ、陸上貨物運送事業労働災害防止協会会長賞が渡邊会長から入賞された選手一人一人に授与されました (写真12)。

次に一般の部及び女性の部の優勝者へ渡邊会長から会長杯の授与 (写真13) があり、次いで武田厚生労働省労働基準局安全衛生部長から同優勝者への厚生労働大臣賞の授与 (写真14) が行われ、今回の大会は午後2時に閉会となりました。



写真12 会長賞を手にした一般の部入賞者の皆さんと渡邊会長



写真12 会長賞を手にした女性の部入賞者の皆さんと渡邊会長



写真13 渡邊会長から各部門優勝者へ会長杯の授与



写真14 武田安全衛生部長から各部門優勝者へ厚生労働大臣賞の授与



入賞選手の皆さん

前列左から、伊藤愛知労働局長、武田安全衛生部長、今村英二選手、渡邊会長、太治萌葉選手、青木愛知県支部長、横尾実行委員長、後列左から、佐藤克選手、小宮山徳人選手、田中大輔選手、内藤由貴選手、大内直人選手、土谷綺咲選手、川田美紀選手、緑美幸選手、福島京美選手、永戸初美選手

【大会優勝者インタビュー】

強い気持ち

第36回大会 一般の部 優勝 今村英二 選手

優勝おめでとうございます。ご感想をお聞かせください。

全国大会3回目の出場で、今回が最後の機会と思い臨みました。入賞者発表が5位から4位と順に発表される中、自信はありましたが最後まで自分の名前が呼ばれないのは不安になりました。優勝発表で自分の名前が呼ばれたとき、肩の荷が下りました。会社の代表としてずっと出場していたのでほっとしました。全国大会に3回出場するに当たり勉強、練習を頑張ってきて良かったです。

全国大会に向けた地方大会への初出場のきっかけをお聞かせください。

大会への初出場のきっかけは、上司から出場してみないかと話をいただいたことです。この大会のことは知っていました。職場に出場経験者がおりましたので色々アドバイスを受けて臨みました。

今大会に向けた地方大会への出場についてお聞かせください。

今大会出場に向けての地方大会（石川県大会）への出場は、今回断っていたのですが、地方大会開催2週間前に上司から出場してくれと言われ、出場することになりました。今回の地方大会は、コロナ禍の影響で学科競技のみでしたので、1日6時間テキストを読んで臨みました。結果1位となり、全国大会出場が決まりました。

どのように全国大会に臨まれましたか？

会社の研修所で3週間の合宿に参加しました。毎日朝から夕方まで全国大会に向け勉強、練習を行いました。

今大会、各競技で手応えはありましたか？

学科競技は、できたと自信がありました。

点検競技は、慌ててしまって手応えがありませんでした。点検競技終了後から翌日運転競技まで出来が良くなかったことを引きずり、眠ることができず、朝食も食べられませんでした。

運転競技は、悔いが残らないようにいつもどおり運転することを心掛けました。初出場の時は周りが期待していないだろうと思って伸び伸びと運転したのですが、2回目は周りが期待してくれましたのでプレッシャーに押し

潰されて自分の持っているものを出せなくて終わってしまいました。3回目の今大会は自分の持っているものを一つ一つ落ち着いて発揮できたので悔いのない運転ができました。

優勝することができた秘訣を教えてください。

自分が自信を持っているのが運転競技なので、3競技の最後に満点を取るという強い気持ちを持って挑んだことが良かったです。強い気持ちを持てたのは、いつもどおり運転すれば大丈夫と自分に言い聞かせたからです。運転競技を待っている間は他の選手の運転は見ませんでした。目を閉じて自分に集中していました。

現在の職務内容をお聞かせください。

フォークリフトの資格は6年前に取得しました。1日2～3時間、リーチフォークリフトを運転します。運転中は、周りを気を付けて、特に後方をしっかり確認しています。

最後に一言お聞かせください。

コロナ禍の中で全国大会に出場することが決まり、合宿、大会のために地元の石川県から県外に行くこととなり、周りの人が心配してくれるとともに、頑張れと声をかけてくれました。また、競技についてたくさんの方に教わりました。皆さんに感謝しています。

3回の大会を通じて身につけた知識、技術をいかして自分の職場だけではなく会社全体の労働災害防止に貢献したいです。



一般の部優勝 今村選手



今村選手の運転競技

【大会優勝者インタビュー】

自分の力を出し切る

第36回大会 女性の部 優勝 太治萌葉選手

優勝おめでとうございます。ご感想をお聞かせください。

信じられないです。入賞者発表で5位、4位と発表されている間、自分の名前を呼んでほしいけれど呼ばれたくありませんでした。優勝者発表寸前は呼ばれることを願いました。

どのように全国大会に臨まれましたか？

全国大会への出場が決まってからは忙しくて練習ができませんでした。空いた時間に学科競技のための勉強をしたぐらいでした。ですので、全国大会前に参加した3週間の合宿でぎゅっと凝縮させました。合宿最後の模擬大会では2位を取れて、一般の部優勝者の今村さんが1位でした。

各競技で手応えはありましたか？

学科競技は、地方大会でも苦手でした。それでも合宿で勉強してきたので、見落としがないように、自分の力を最大に出せるように問題を解いていきました。競技が終わった瞬間は達成感はなく、取りあえず終わったという感じでした。

点検競技は、待っている間が一番緊張しました。自分は早く競技を終わらせたかったので、待機時間がしんどくて、ずうっと心臓がバクバクしていました。競技では、練習してきた部分とイレギュラーな部分があり、その中でも落ち着いてできたと思ったのですが、満点ではないのではと不安になりました。

学科と点検が終わった後、宿泊先でも緊張しっぱなしで、夕食はお腹が空かなくて半分食べきれず、夜は寝付けず色々考え事をして朝までが長かったです。朝食は、食べないといけないと思い、食べ物が喉を通らないながらも口にしました。

運転競技は、待っている間は他の選手の運転を見ていました。自分の番が近づいてきても緊張はせず、この5分間で大会のために取り組んできたことが終わるので、やり切って自分の力を出し切ろうと思い臨みました。

職場や周囲の方々のご協力はございましたか。

池田さん（第34回全国大会女性の部優勝者）の存在がとても大きいです。近くにいてくれるだけで安心します。私が地方大会に出

場することが決まって、まだ何も分からない時から多々教えていただきました。3競技のことだけではなく、精神面でも支えてもらい「大丈夫！できる！」とずっと応援していただきました。合宿中は会えなかったんですけど、会いたいの一心で連絡だけは取っていて、大会初日に3週間ぶりに会ってすぐに「練習をよく頑張った！」と言ってもらい、優勝することができました。感謝しかありません。

現在の職務内容をお聞かせください。

2年前に資格を取得し、それから毎日一日中リーチフォークリフトを運転しています。

最後に一言お聞かせください。

優勝はしましたが、悔しい気持ちもあります。女性の部だけではなく男性にも負けずに頑張りたいのですが、今まで取り組んできたことを出し切れませんでした。それでも緊張しながらも落ち着いて競技に取り組めて優勝することができたので本当に良かったです。

自分の事業所に帰って、これまでに得た知識や技術を広めていきたいです。



女性の部優勝 太治選手



太治選手の運転競技

当誌No.626令和3年8月号12頁に、太治選手の地方大会優勝インタビューを掲載しておりますので併せてお読みください。

【新型コロナウイルス感染防止対策】

感染防止対策に取り組みました

今回の大会では、選手の皆様に安心して競技を実施していただきたく、新型コロナウイルスの感染防止対策に取り組みました。

主な取組内容をご紹介します。

大会開催前の取組

大会開催前に、選手の皆様を始め来賓、メーカーの方々、運営全スタッフのワクチン接種状況を確認し、未接種の方には当協会からPCR検査キットを送付し、結果を報告いただきました。

選手の付添者は1名のみとし、事前に登録いただきました。

受付での取組

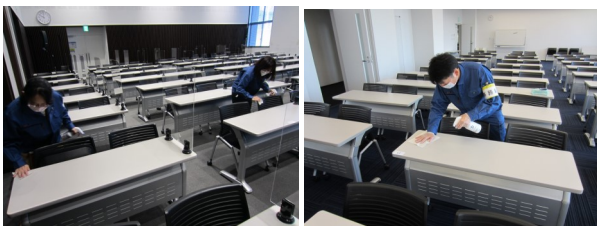
付添の方は来場の際、受付にてワクチン接種状況・PCR検査結果を提出いただきました。未提出の方は抗原検査を受けていただき陰性を確認しました。確認を行った付添者の皆様には当協会が用意したリボンを着用いただきました。

全選手・付添者を含む全来場者の体温を確認しました。



会場の消毒

開会式会場・学科競技会場・点検競技選手控室の机・椅子を全て消毒しました。



開会式・学科競技

開会式は、間隔を十分に取った座席を用意し、選手・付添者の皆様に着席していただきました。



学科競技場も選手間の間隔を十分に取った座席に着席いただきました



点検競技

点検競技では、全選手に手袋を着用いただきました。

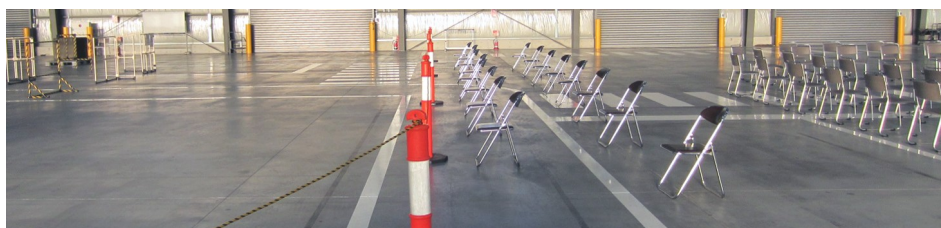


運転競技

運転競技では、全選手の競技開始前にフォークリフトの消毒を行いました。



付添者等のための椅子席は密にならないよう間隔を空けて用意しました。



選手用バス

選手が宿泊先へ向かうために乗車したバスでは、2列の座席に1名ずつ着席いただきました。



食堂

全選手が昼食を取った会場内の食堂では、アクリル板を設置した机に座っていただきました。



表彰式

表彰式会場は間隔を十分にとって設置した椅子に選手、付添者が着席して参加いただきました。





フォークリフト +

荷役技能検定

フォークリフト作業の安全化は技能の向上から！



陸災防

日頃、フォークリフトオペレーターの危険な運転を目の当たりにしていませんか？



陸災防では、「フォークリフト荷役技能検定」を実施しています。この技能検定は、フォークリフト運転者の安全・正確・迅速な荷役作業の技能を1級及び2級として評価・認定するもので、技能の向上を通じて荷役災害の防止を図ることを目的としています。



検定1級バッジ



フォークリフト荷役技能検定の科目は、学科試験、点検試験、運転試験の3種類。これに全て合格すると、検定合格証とバッジが授与されます。

フォークリフト荷役技能検定は、あなたの職場の災害防止・作業効率の向上、社会的評価の向上に必ず役立ちます！

フォークリフト荷役技能検定

検索



陸上貨物運送事業労働災害防止協会（陸災防）